

2007年12月25日

各 位

東京都港区芝五丁目34番7号
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長 藤川 純太
お問合せ先 経営企画部
TEL 03-5476-0112

高流動性シンジケート・ローンによる資金調達について

弊社は今般、三菱東京UFJ銀行をアレンジャーとする総額 200 億円のシンジケーション方式によるタームローン契約を締結いたしました。

弊社は、三菱グループを代表するオートリース会社として、持続的な成長を続けるオートリース業界におけるトップグループ企業を目指しており、これまで戦略的事業再編に取り組んで参りました。

2007 年 10 月にはダイヤモンドオートリース株式会社との合併を完了し、新生「三菱オートリース」としてスタートしております。

弊社では、継続的な事業拡大を実現していく上で、安定的な資金調達手段を構築することが重要な経営課題であるとの認識のもと、2007 年 6 月に総額 380 億円を格付取得型シンジケート・ローンにより調達しており、本件はそれに続く組成となります。

今回は、ダイヤモンドオートリース株式会社との合併後、初めての本格的な調達として、更なる資金調達手段の多様化を実現すべく、ローン債権の売買を前提とする「高流動性シンジケート・ローン」の導入を進めて参りました。その結果、16 社からなるシンジケート団より上記金額を調達することになりました。

弊社はシンジケート・ローンの活用による「市場型間接金融」へのアクセスを始め、多様な資金調達手段の導入により、安定的な資金調達基盤を構築し、引き続き継続的な事業拡大を図って参ります。

本件の概要は以下の通りです。

借入金額 : 200 億円
借入日 : 2007 年 12 月 28 日
借入期間 : 2 年(期限一括返済)
参加金融機関 : 三菱東京 UFJ 銀行、他 15 金融機関
ローン格付 : A- (R&I)

以 上